






始動Ⅱ 附中×GIGA



担当 草場 博文


【始動Ⅱ期】 2021. 6～2021. 7

実践目標：課題を共有する。そして解決に向けた小さな一歩を踏み出す。

時期	TOPIC													
<p>6月10日（木） ICT 推進担当者会 6月11日（金） 運営委員会</p>	<p>校内研究の方向性および手法について見直し、再構築をめざす</p> <p>6/8（火）におこなった職員アンケートの結果とこの一か月間 Chromebook を活用する生徒の様子をもとに次のことについて、ICT 推進担当者と研究部とで協議をおこなう。</p> <p>①洗い出されてきた課題を組織的にどのように解決すればよいか。 ②「授業×ICT」を組織的な取組にするためにどうすればよいか。</p> <p>そこで今後の研究の方針を以下のように修正した。</p> <p>①「附中×GIGA」の取組を通して育む資質・能力について、情報活用能力に着目して整理する。 ⇒「情報活用能力が身についた附中生の姿の考え、共有を図る。」</p> <p>②主体的・対話的で深い学びのある授業改善を「授業×ICT」推進するために以下の図表をもとに各個の実践の目的や手法をふりかえる。 ⇒「附中版 ICTによる学びのスタイル（仮称）をつくる。」</p> <div data-bbox="427 1308 1433 1899"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="427 1308 632 1451"> <p>A 一斉学習</p> <p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p> </td> <td data-bbox="632 1308 1034 1451"> <p>B 個別学習</p> <p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p> </td> <td data-bbox="1034 1308 1433 1451"> <p>C 協働学習</p> <p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通して、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1451 632 1675"> <p>A1 教員による教材の提示</p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p> </td> <td data-bbox="632 1451 836 1675"> <p>B1 個に応じる学習</p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p> </td> <td data-bbox="836 1451 1034 1675"> <p>B2 調査活動</p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p> </td> <td data-bbox="1034 1451 1238 1675"> <p>C1 発表や話し合い</p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p> </td> <td data-bbox="1238 1451 1433 1675"> <p>C2 協働での意見整理</p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1675 632 1899"> <p>B3 思考を深める学習</p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p> </td> <td data-bbox="632 1675 836 1899"> <p>B4 表現・制作</p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p> </td> <td data-bbox="836 1675 1034 1899"> <p>B5 家庭学習</p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p> </td> <td data-bbox="1034 1675 1238 1899"> <p>C3 協働制作</p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p> </td> <td data-bbox="1238 1675 1433 1899"> <p>C4 学校の壁を越えた学習</p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p> </td> </tr> </table> </div> <p>学びのイノベーション事業 実証研究報告書より（H26）</p>	<p>A 一斉学習</p> <p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p>	<p>B 個別学習</p> <p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p>	<p>C 協働学習</p> <p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通して、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p>	<p>A1 教員による教材の提示</p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>	<p>B1 個に応じる学習</p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>	<p>B2 調査活動</p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	<p>C1 発表や話し合い</p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	<p>C2 協働での意見整理</p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p>	<p>B3 思考を深める学習</p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p>B4 表現・制作</p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p>	<p>B5 家庭学習</p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	<p>C3 協働制作</p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p>	<p>C4 学校の壁を越えた学習</p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>
<p>A 一斉学習</p> <p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p>	<p>B 個別学習</p> <p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p>	<p>C 協働学習</p> <p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通して、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p>												
<p>A1 教員による教材の提示</p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>	<p>B1 個に応じる学習</p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>	<p>B2 調査活動</p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	<p>C1 発表や話し合い</p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	<p>C2 協働での意見整理</p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p>										
<p>B3 思考を深める学習</p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p>B4 表現・制作</p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p>	<p>B5 家庭学習</p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	<p>C3 協働制作</p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p>	<p>C4 学校の壁を越えた学習</p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>										

	<p>③生徒と向き合う時間の確保を目指して、時間短縮や作業効率の向上するための「働き方改革×ICT」を推進する。</p> <p>⇒「実践事例をHPに掲載する取組を通して、一時期に集中した紀要作成や出張に持参するレポートの作成の手間を分散する。」</p> <p>⇒「機を捉える・ニーズを捉える発信をおこなう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「まず使う。できそうなことをやってみる。そして課題をあらいだす。」</p> <p>「失敗を失敗のままでは終わらせない（ダメ⇒原因探る⇒改善 or 方針転換）」</p> <p>の OODA ループ（調整機能を働かせ何度も繰り返す）による取組方針はこれまでどおりとする。</p> <p>OODA ループ Observe(観察=見る)</p> <p> ⇒Observe・Orient（状況判断=わかる）</p> <p> ⇒Observe・Decide（意思決定=決める）</p> <p> ⇒Observe・Ac(実行=動く)</p> </div>
<p>6月15日（火）</p>	<p>生徒企画による学年朝会を google Meet で行いました。（写真は2年生）</p> <p>Chromebook を使って、生徒会執行部が中心となって学年集会を企画・運営しました。機器の接続からすべてを生徒の活動でできたことは大きな一歩です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>6月17日（水）～ 6月21日（月）</p>	<p>「附中×GIGA」生徒実態状況調査を実施する</p> <p>一人一台 ICT 端末として Chromebook が導入され、今までの学校生活が変化し始めていると感じている生徒を対象に google フォームを用いてアンケートを実施しました。附属中学校版の「GIGA スクール構想」は生徒と共に推進します。</p> <p>先生方が、「ICT を活用した生徒と共に創る授業はどうあるべきか」の課題と向き合い日々学習をしていることを伝え、生徒と共に「これからの授業の在り方」を実践し、生徒に社会を生き抜くための「情報を活用する力」を身につけようという目標を共有しました。標題にある「附中×GIGA」には、これまでの附属中学校で培ってきた伝統や良さに GIGA（①ネットワーク環境整備②Chromebook などの ICT の活用）を掛け算することによって、これからの未来を生き抜くための資質・能力を身につけて欲しいと願いをこめています。</p> <p>参考資料 01 「附中×GIGA」生徒実態調査の集計（一部省略版）</p>

<p>6月23日(水)</p>	<p>朝自習の課題に「すららドリル」を使用してみる。</p> <p style="text-align: center;">2年数学</p> <p>生徒管理画面で設定された課題を生徒は解いて提出します。操作方法や入力方法のミスによる減点などもあり授業で活用するためにはもう少し試行が必要だと感じます。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>問題番号:1</p> <p>$a =$ <input type="text"/></p> <p>【正解】 $a = 8 \quad b = -6$</p> <p>【解説】 連立方程式を解くには、2つの方程式を加減法とは、2つの式の辺どうしを加</p> $\begin{array}{r} a + 4b = -16 \cdots \cdots \textcircled{1} \\ +) -a - 3b = 10 \cdots \cdots \textcircled{2} \\ \hline b = -6 \end{array}$ </div>
<p>6月23日(水) 第5回校内研修会</p>	<p>「附中×GIGA」生徒アンケートおよび教師アンケートをもとに、これから附属中で目指すべき「ICTを利用した教育の姿」について考えた。</p> <p>【方法】 小グループ活動 協議内容を google スライドにまとめる。 (同時編集) Cloud で管理し、職員で共有を図る。</p>  <p>ICT 機器の利用を念頭に置き協議を重ねたが、やはり本校の教育目標にある「自主・自律の精神」に寄る意見が多数あがりました</p> <p>目標を持ち正しく使うこと、相手がいることを意識した発信、自分と他者の情報を大切にすることなど日頃からあたりまえにできているはずのところ ICT 機器を使う場面においてはハードルが引き下げられてしまっている現状がアンケートの結果にも現れました。ICT 機器を使う場面に対する順応の速さや操作を覚える能力など生徒たちの可能性についても教職員で共有することができました。そこで、「附中×GIGA」でとくに力を伸ばすべき「情報を活用する力」は、情報モラル・ICT 機器との正しいつきあい方ではないかという意見が多く上がりました。</p> <p>生徒使用規定・保護者説明資料の内容に追記・改訂をすることを決定しました。</p>
<p>6月24日(木) ICT 推進担当者会 6月25日(金) 運営委員会</p>	<p>保護者にむけた「附中×GIGA」の説明資料作成</p> <p>前日の研修会で特に力を注ぐべき「情報を活用する力」を身につけさせるには保護者の協力が欠かせません。さらに ICT 機器である Chromebook の持ち帰りを進めるためには、保護者と目標や取組を共有する必要があります。</p> <p>7月 PTA において配付し、保護者に「附中×GIGA」について発信することで Chromebook の持ち帰りに向けた準備を行っています。</p> <p>参考資料 02 Chrome Book の使用について保護者説明資料</p>

<p>6月29日(火) 第6回校内研修会</p>	<p>第1回 ICT 実践交流会</p> <p>研究の一環で年に3回予定している実践交流会を行いました。前回と同様にスライドを同時編集しながら協議を重ねます。発表や記録など役割分担をしながら協議を進めます。また記録を見ながら追加修正を行うなど教職員のスキルも向上してきました。教科の枠を超えて成果や困りを共有しあうことができ有意義な時間となりました。</p>	
------------------------------	--	---

【ICT推進担当】

実践を振り返るといろいろな課題が見えてきました。一か月でこれだけの実践を蓄積してきたおかげでもあります。先生方のご尽力に感謝します。試行錯誤の中からより良い方法を考え本校の「附中×GIGA」をすすめていきましょう。